



鳥取こども学園 学園だより

第 16 号
2004年12月 1 日

○発行
鳥取市立川町 5 丁目417番地
鳥取こども学園後援会
電話 (0857) 22-4206

○振込口座
郵便振替 01490-9-9106
題字 尾崎悌之助

二〇〇四年のクリスマスと二〇〇五年 新年を迎えるに当たって祈ります。

「天には神に栄光が、
地には平和が、
人には喜びがありますように。」(ルカ・二一四)

鳥取こども学園 園長 藤野興一

聖名を賛美します。

イラクで、パレスチナで「戦争」による
殺戮が絶えず、日本でも、「地震」や「水
害」で苦しんでいる人達がたくさんいます。
神様の慰めを切にお祈りします。

昨年の「学園だよりNo.14」で、私は「神
様！クリスマスにお祈りします。『歴史の
希望』としての子ども達に、『安心』と
『自信』と『自由』を保障できるホーム
(お家)を下さい。」と書きました。



様々な

反響があ
りました
が、県外
の、いつ
も後援会
にご寄付
いただい
ているH
さんとい
う女性の
方から
「クリス

マスプレゼントは、もう一つより与える
ことでイエス様の降誕の喜びを分かち合う
ことに意味がある」まして、「お家を下さ
い」などという祈りはクリスマスにすべき
でない。と、もともと心のもった忠告
を受け、恥じ入るばかりで、お礼の手紙を
書きました。

いつも「学園だより」をお送りする度に、
たくさんの方々から励ましの会費・寄付金
をいただき、恐縮すると同時に、身の引き
締まる思いがいたします。

特に最近、豊岡の地震や新潟地震での被
災者の方々のことを想うと申しわけない気
がしてなりません。お預かりしている子ど
も達をしつかり育てることで、皆様の善意
に報いる以外にないと思っていますが、ご
寄付などの際に当園との関係も含めて、一
言二言を添えて頂けるとありがたいです。

「児童虐待防止法」は、3年目の見直し
改正が行われ、「児童虐待は人権侵害であ
る。」とうたわれ、十月一日、改正法が施
行されました。通告から地域・施設などで
のケア、家族再統合やアフターケアまで

の切れ目ない支援強化が盛り込まれ、自立
援助ホームなど施設への若干の国庫補助金
増が図られました。感謝です。

しかし、施設現場では、幼児の入所が激
増し、不十分な設備と人手不足のまま、
依然として「野戦病院」のような状態が続
いていると言わざるを得ません。

小舎制をとっている我が園の場合、一ホー
ム2〜3名の幼児を抱え、朝夕の職員2人
配置がでず、夕食時から就寝まで、幼児を
含む8〜10名の子どもを一人の職員でみな
くってはならない過酷な状態が続いています。
今年度、一ホーム増やし、やっと8人ま
で減らすことが出来ました。更に、来年度
への改善計画を立て、せめて一ホーム6人
までにならないかと願っていますが、建物
も人も不足していつのとうろ不可能です。

再来年の二〇〇六年に、私たちは、「鳥
取こども学園創立百周年」を迎えます。創
立百周年記念事業として、来年度二〇〇五
年度に、総事業費一七四、〇四五、〇〇〇
円で、乳児院(母子愛着センター)建設、
養護ホーム改築、ショートステイ・一時保
護所建設、管理棟大規模修繕工事を計画し
ています。

二〇〇六年度乳児院開設により、子ども
と家族支援のための総合ケアセンターとし
ての歩みをより確かなものになれたいと願っ
ています。(二面に詳細)

更なるご支援・ご鞭撻をお願いします。

法人本部

**感謝！ ユニット型ホーム
改修・機能移設大規模修繕
工事が完了しました。**

旧希望館治療棟の機能を、本館二階に移設し、希望館治療棟を養護ホームに改修する工事が、国の大規模修繕工事補助金の適用を受け、この度完成し、「あざみホーム」が転居、生活を始めました。

株式会社懸樋工務店施工により、本館二階「機能移設工事(情短施設分)」が一〇、一六八、〇〇〇円で、九月八日完成し、旧希望館治療棟「ユニット型ホーム改修工事(養護施設分)」が一三、五四、〇〇〇円で、十一月二日完成しました。設計監理は赤山建築設計事務所で、一、一七六、〇〇〇円、総事業費は、二四、八六四、〇〇〇円でした。

心より感謝申し上げます。

創立百周年記念事業概要 (案)まよする！

一、平成十七年度、「乳児院(親子愛着センター)及び一時保護所」建設工事を計画。

① 「児童虐待防止法」以降、全国的に

施設入所児童の増加傾向が顕著で、当園

の入所部門は一時保護部門も含めて常に満員状態にあり、各ホームとも乳幼児を含めて10名の子とも達がひしめいている状態で、二〇〇四年度に一ホーム増やし、更にせめて一ホーム6名までに減らしたいと願っています。そのためには、ホームの建物が必要です。

② 更に、「子ども家庭支援センター希望館」を拠点として「NPO法人虐待防止ネットワーク鳥取」や「子育てSOS支援ネットワーク」の事業展開から、親子分離せざるを得ない乳児の増加が目立ち、親子の愛着形成を図るためにも、乳児院(現在、鳥取県では西部に1カ所しかない)を東部に創設してほしいとの切実な要望が地域から出されています。

養育の継続性を確保する意味でも、当園の創立百周年記念事業の中心的事業として、「親子愛着センター(乳児院)」の創設を計画しました。

二〇〇五(平成17)年度に建物を建て、二〇〇六(平成18)年度の開設を目指します。

③ 左記①②の建設計画は、戦後の当法人が、その時代々々のニーズに対応してバラバラに建ててきた建物の機能を「子育て支援の総合プロジェクト事業」として、まよする事業となるものと確信

しています。

建設計画は以下のとおり。

1 総事業費

一七四、〇四五、〇〇〇円

内 訳

① 養護ホーム改築(木造2階半分合築)

三三、二二三、〇〇〇円

初度調弁

五〇〇、〇〇〇円

② 乳児院本体工事(木造2階建)

七五、七六六、〇〇〇円

初度調弁

八、〇〇〇、〇〇〇円

③ ショートステイ・一時保護所(木造2階・半分合築)

二二、九二四、〇〇〇円

初度調弁

一、〇〇〇、〇〇〇円

④ 管理棟大規模修繕

一五、九三二、〇〇〇円

初度調弁

五〇〇、〇〇〇円

⑤ 外構工事費等

五、二〇〇、〇〇〇円

2 資金計画(補助金は予定)

国庫補助 六五、五二〇、〇〇〇円

鳥取県補助 三三、七五九、〇〇〇円

鳥取県任意補助

一六、三七八、〇〇〇円

鳥取市補助

一六、三七八、〇〇〇円

法人負担 四三、〇二〇、〇〇〇円

二、学園墓地の改修

鳥取市丸山に「鳥取育児院の墓」があり、今でも時折、学園出身者の方の納骨

式をとり行っています。その墓地の改修が必要です。 二、〇〇〇、〇〇〇円

三、鳥取養育研究所の創設

一、〇〇〇、〇〇〇円

四、「創立100周年記念誌」の発行及び記念式典の挙行

三、〇〇〇、〇〇〇円

＜二〇〇六(平成18)年11月頃予定＞

五、寄付金募集及び一万人の「鳥取こども学園後援会」の組織化にご協力を。

1 募金委員会

黒川和子、中井政美、浅井慶紀、尾崎

淑子、藤野興一、入江一枝、川口孝一、

田丸敏高、赤山善男、石谷暢男、清水雅

彦、縫谷昌生、山中捷二、涌本祐之、井

上恭子、松原実、仁保統一、中尾廣太郎、

西尾美智子、(募金委員長：黒川和子)

2 募金目標

左記記念事業の法人負担金

五、〇〇〇、〇〇〇円

以上の素案を立ててみました。日ごろから当園へのご支援をいただいています皆様の「ご意見」をお寄せ下さい。

いすれにしても、創立百周年に向けての募金にご協力お願い申し上げます。



児童養護施設

鳥取子ども学園

小規模グループケア推進事業の施策にのって、園内の建物を改修して一件のお家を造りました。(あざみホーム)十一月十一日に引っ越しをして、一才から十六才の子ども達と職員三名で生活を始めました。

改修したあざみホームに来て、みんな嬉しそうな表情でした。二階があり、広く家のような雰囲気ですごく暮らしやすいです。ずっとこの雰囲気が続く心地よいホームであり続けたいです。

高一 H 子

引っ越しをして新しい木のおいがし



あざみホームの新しい食堂

てこのホームにきてよかったです。

小一 H 子

あたらしい「あざみホーム」に来て楽しかったです。それにきれいでした。わたしのねるへやがきれいだったし、わたしは二階だったのでうれしかったです。

小一 K 子

引っ越しをしてずっとこうです。

小一 Y 男

高校生活を振り返って

高三 A 子

この三年間のうちで勉強よりもっとすばらしいものを見つけました。それは、友達との存在で、高校に入るまで周囲の同年代の人達に心を開くことができず、嫌われたりいじめに合わないようにならないうちに、周りの顔を気にしながら過ごす毎日でした。

この高校の門をくぐり、多くの人達と接する機会を得て、心機一転のスタートとし、きこちなさの中にも徐々にとけ込むことができるようになりました。そうしたことから、心から信頼しあえる友人を得ることが出来たように感じられ、楽しい学校生活が過ごせるかのように思っておりましたが、ある日、登校時にいつものように「おはよう」と友達に挨拶したのに、返事がありません。気付かなかった。

たと思い、教室へ入ると空気は昨日と一転し、周囲は冷たく、挨拶は無視だったのでした。空気の違いは直感しました。「私、何したの？」本当に自問自答するも皆無であり、思い当たる節もありません。周りの鋭い視線を感じ、足が竦み、その場から逃亡したい気持ちで一杯でした。

やがて、ある友達がその時のことを話してくれ、いつも一緒に仲よくしていた友人が「あの嫌いだ」と、虚偽の内容の数々をクラスの友人へ言いふらしていたとのことでした。私の心はズタズタに切り裂かれ言葉を失いました。今までの私はここで挫折していましたが、自分を失いたくない、負けない、逃げたくない。そういう思いを持って通学し続けました。

すると、それを見ていた友人の一人が、「〇〇ちゃんは、そんな子じゃない」と周りの人達に訴え言い続けてくれたのです。幾度となく頬に涙がたいた感動を覚え、私を見ていてくれた人が居たことにです。

今では、信頼できる友達も沢山で、毎日の学校が楽しくて仕方ありません。私を心から支えてくれた友人の存在でした。

この高校生活で言葉に表せない程の大切なことを学ぶことができました。それは本当の友人を得ることの喜びという大きな宝ものでした。

行事

【学園関係】

6月23日	ブラム祭り招待 (鳥取砂丘子ども園)
7月22～24日	鳥取県児童養護施設合同キャンプ(船上山キャンプ場)
26日	希望館 海水浴 (諸寄)
8月3～4日	里親ふれあい事業 (大山日吉津村キャンプ)
6日	夕食焼き肉招待 (海揚亭)
8日	劇団飛行船・マスキュージカル「あじゃ魔女どれみ」招待 (鳥取市民会館)
14日	OB焼き肉交流会
10月1日	希望館・通所部門 秋の遠足 (田後港)
22日	希望館・通所部門 ミニミニ運動会、人形劇団来園上演 (劇団つばさ)
23日	児童ふれあいのつどい (しらばま交流センター)
29日	四施設合同防災訓練
11月6日	いちご苗の植え付け招待 (鳥取ライオンズクラブ)
7日	めだかの搬入と焼き肉パーティー (鳥取中央ライオンズクラブ)
21日	鳥取シンフォニック・ウィンス定期演奏会招待 (鳥取市民会館)

児童心理療育施設

鳥取こども学園

希望館

今年度、カウンセリング室を移転改修し、夏過ぎより使用しています。きれいな落ち着いた環境の中で少しでも子ども達の心の癒しが出来たらと願っています。子ども達もいろいろな課題に向き合いながら頑張っています。

「ピアノ」

小五 M・A

私は、小学三年生からピアノをならっています。私がピアノをならったきっかけは、学校の休けい時間、友達がピアノをひいていて、私もつまくなりたいと思ったことです。お父さんに、「ピアノをならいたい。」

という、お父さんは、「自分ならいたい」という気持ちがあるなら、ならうといいけれど、一回でも行きたくない気持ちでいくのなら、ピアノをならうな。」といました。私が「一回でもゆだんせず行く。」という、お父さんは、「わかった。」といってくれました。一ヶ月に二

回、しゅうちゅうしてがんばっています。

小学三年生の三月、初めてのピアノの発表会に出ました。私の出番は七番で、私の名前を呼ばれた時、きんちようして足がふるえました。やっと、えんそうが終わった後、ほっとしました。そして、二年間、三年間とピアノをがんばっています。

バイエルが今年で三冊目になり、いつもどんな曲が出るのかどきどきしています。一さつ目より三さつ目の方が、バイエルのレベルが高くなり、私は、ほんとうにこんなにむずかしい曲ができるのかなあと、どきどきしながら一ページ一ページと合格してきました。これからピアノをがんばりたいと思います。

「うれしいアジ」

児童指導員 山本 隆史

秋になろうかとするある週末、かねてからKくんに「先生、釣りに行くので」と誘われていたこともあり、Tくん、D

くんと私の3人でアジ釣りに行くことにしました。まずは釣具屋さんに行き、サビキ釣り用の道具、えさを購入し、網代港へ。

ここ数年、子どもに誘われて、釣りに行くのだけれど釣果はさっぱり。「私が行くと魚がいなくなるのか。今回も・・・」

と不安に思いながら網代港へ着いた。仕掛けを子どもたちに教えながら用意し、いざ第一投。しばらく待っても何の手応えも無し。「今日もダメか」と思った瞬間、「先生！来たぞ！」子どもたちが、竿に確かな手応えを感じたようだ。釣り上げた魚の姿は、大物とは言えないが、確かに目的のアジ。「やった。また来た」それから十数匹釣れ、「先生、オラ名人もしれん。」と得意満面の笑み。辺りのおじさんたちに「釣れてますか？」と聞きながら、自分が釣った魚の自慢をす

る。「先生、あそこに仕掛け入れてみたら。一匹くらい釣れるかしれんで。」私は相変わらずの釣果であったが、そんなことはどうでもいい。ホームとはまた違う子どもたちの姿を見、ゆつくり子どもと話ができた。

ホームに帰って早速、唐揚げにした。「先生も俺の釣ったアジ食べたら？」十センチほどのアジが、こんなにうまいものかと、とてもうれしい味がしたアジ釣りだった。



【鳥取みどり園関係】

6月6日 鳥取みどり園バザー

10日 時の記念日(綾木時計店、小谷時計店、高垣時計店見学)

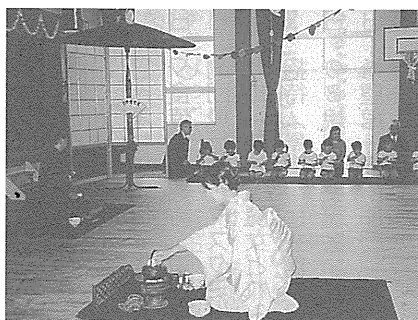
11日 子育て支援センター「育児講座」講師 園医 今田哲哉氏

19日 参観日(保育参観、座談会)

20日 私立保育園保護者会連合行事(チャレンジキッズとだんご汁の大会)

21日 遠州流茶道こども塾

(家元による教室：5歳児参加)



7月7日 セツまつり

9日 プール開き

15日 17日 個別懇談会

27日 卒園生のつどい

8月7日 納涼祭(保護者主催)

27日 プール納め

9月1日

子育て支援センター「育児講座」講師 おもちゃアドバイザー(木や) 高橋克己氏

保育所

鳥取みどり園

園長 入江 一 枝

散歩から帰って来た子ども達の手にはどんぐりや落葉が入った袋がしっかりと握られています。保育所にも、玄関のフロアーのテーブルの上にも、散歩のおみやげが置かれています。

園前で遊んでいた子ども達が何かに気づきました。「せんせー、赤い葉っぱが落ちてきたよ」「黄色のものもあるよ」。そして、保育者の弾んだ声が聴こえます。

「わあ、きれいだね 桜の葉っぱが赤や黄色に変わっていくのよ」と木を見上げる保育者につられて不思議そうに桜の木を見ている姿が、とても可愛く、印象に残りました。

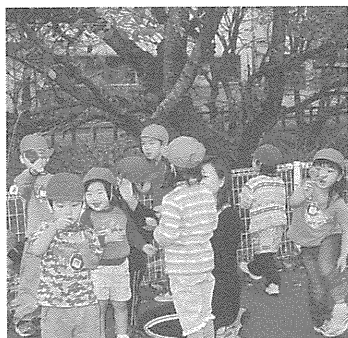
春は満開の桜の花を咲かせ、花びらが散ると花びら集めました。暑かった夏には、繁った葉陰の下で汗を拭いてひと休み。深まりゆく秋と共に、色づき始めた葉は舞い散り、落葉拾いを楽しむ子ども達と、やがてはすっかり葉を落としてしまった木に、気づけるような保育をしていきたいものです。

神さまからいただいた自然の恵みを五

感を通し感じ、感謝の気持ちをもって過ごしたいと願っています。

大人にとっては些細なことでも、子ども達にとっては、大きな発見になる出来事があることが、子ども達から教えられる。その一つひとつの出来事を大切にし、その日、その時にしか味わえない感動を、子ども達と共感できる、喜び合える保育者でありたいと思います。

今年も、クリスマスを待つ季節がやってきました。この時を心静め、感謝と祈りをもって穏やかに過ごすことが出来るよう努めていきたいと思っています



今年度は、三歳未満児の参観日はやめて、保護者全員に一日保育者として、お子さんのクラスに入って頂き、園でのお子さんの様子を見て頂いたり、子育てについて保育者と話し合ったりしています。その中の一名のお父さんの感想を載せています。

一日保育を体験して

ひまわり組保護者 民野 幸仁

普段、娘が園でどのように過ごしているのか興味があり、いい機会だと思い、父親の私が積極的に参加しました。

初めは、自分の娘以外の子ども達とう接したらいいのか不安がありました。が部屋に入るなり子ども達が集まって来て「今日一日保育か？お弁当持ってきた？

見せて見せて」と子ども達の方から寄ってきてくれて自然に溶け込む事ができました。その日は、天気が良く園庭で遊んだのですが、そこでも子ども達から「〇〇しよう、今度は〇〇しよう」と遊びに誘ってくれ、私もいつのまにか子どもにかえって夢中で一緒にボール投げや虫取りをして遊びました。実は、この日までほとんどの子ども達の名前を知りませんでした。遊び中で全員の名前を覚え、その後も会う度に「〇〇ちゃんおはよう」「あいちゃんのパパ、おはよう」と会話ができるようになりました。

また、園に預けた当初泣いてばかりいた娘が、親から離れ、友達と楽しく遊んでいる姿を見る事ができ非常に嬉しく思いました。本当に一日保育という貴重な体験をさせて頂き有難うございました。

12月 仕事会

15日 敬老の日のつどい

20日 修立地区敬老会に出演

(5歳児)

26日 運動会

10月3日 鳥取市保育所児童文化祭

13日 遠足(子どものみ)

3歳児・4歳児：小雨のため園周辺散歩、5歳児：出合いの森(貸切りバスで)

14日 交通安全教室(保護者会主催)

4・6・19日(4日間) 保育体験実

習(鳥取東高2年生主員20名)

22日 人形劇観劇(3歳以上児)

24日 私立保育園保護者会連合行事

30・31日 (ソフトバレーボール大会)

修立地区公民館文化祭(修立

地区に居住している3歳以上

11月10日 児の描画出品)

16日 焼きいも大会

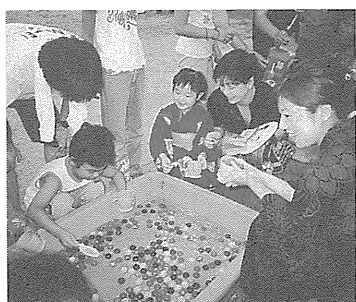
18日 修立小学校1年生との交流会

25日 感謝祭&もちつき大会

6歳臼歯健康講座(5歳児)

講師 今田哲哉氏

※その他、毎月市民図書館に行き「絵本の読み聞かせ」をして頂いています。(5歳児)



子ども家庭支援センター 希望館

平成十一年十一月一日に発足した当センターの活動は今年で五年経過しました。二十四時間対応の電話相談や来所面接相談、訪問面接相談等を含め今日まで三千件の相談に対応してきております。

相談の内容も一回の助言や支援ばかりではなく、継続して対応する相談やカウンセリングの件数も年々増加してきております。

また、児童福祉入所施設協議会の活動である「子育てSOS支援ネットワーク」の事務局と「NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク鳥取」の事務局活動にも兼務として対応し、メール相談にも応じていますので担当者の業務も増加傾向にあります。

相談の内容としては、県内の児童相談所からの委託ケースも受理しており、虐待相談への支援も含めて、より実践的でより効果的な相談活動をしていかなければならない状況となってきました。

他の関係機関や団体との連携活動も増え、地域により密着した相談機関として着実に活動することを期待されるようになってまいりました。

発足して五年経過しましたが、今大きな節目にきたようです。

更に地域社会から期待される機関として活動していくための組織としての機能強化を計ることや相談内容に対応していけるだけの資質を向上させることができような研修をつみ重ねることが必要となってきました。

法人組織の皆様と協働して地域の人々に欠かせない相談機関として活動できるよう頑張りたいと思っています。

自立援助ホーム 鳥取フレンド

「フレンドの仲間達」

十九才 Y・K

私は、今年の六月にフレンドに来ました。二日目にして、介護の仕事をする先生が探してくれました。介護の仕事は、中学生の頃から夢だったので、私にとっては天職だと感じました。

フレンドに来て、はや半年過ぎた今も、仕事、通信高校とも順調で、毎日充実しています。仕事や学校の毎日で、嫌な事も楽しい事もいろいろあるけれど、寮の先生や仲間達と一緒に過ごすことは、私

にとって毎日が発見だらけだと思います。自分で働いてお金を稼ぐ大変さも、身にしみて分かったし、自分の稼いだお金で買う楽しさも見つけて、少し大人になった気がする今日この頃です。

ノグ

昔はよく生まれた事を後悔していましたがもう全部がイヤになる事とか、いろいろありました。朝、寝起きでムカつく時とか、しょっちゅうありました。ムカつく奴を全員殺したい時もあったけど、兄相に入れられてから、チョットずつ変わったようながしました。それで、フレンドに来てからもっと変わったと思っています。フレンドに来て、よかったなあと思っています。今は、ケッコウ、生きとてよかったなあと思う事があるので、幸せだと思っています。

十八才 K・M

オレは今、免許を取りにいつています。なぜ取るうとしたか。鳥取にきている間にとろうと思ひ、行くことにしました。

免許を取ったら、愛知県に帰って、姉と一緒にドライブに行きたいです。

保育士 山中

もつすく十九才になるS君は、念願の普通自動車免許を、今年の夏に取得し

ました。

仮免許までが長期間となり、少し心配もしましたが、本人はよく頑張りました。現在は、給料の範囲内で、生活していく事を心がけて生活しています。アパート自立に一番近いところにいる予定です。

最近入寮したばかりのY君は、もうすぐ十六才で、まず、生活の立て直しが目標です。まだ何もかもが始まったばかりですが、現場の仕事に朝一番早く出て行き、やる気が見えます。自動二輪の免許取得を切望しています。気をつけてほしいと思います。

鳥取子ども学園同窓会の「案内」

学園出身者の同窓会は、年間の恒例行事となっており、毎年二回行っています。

最近の出身者も楽しみに参加してくれるようになりました。先輩の出身者との交流を深めたり楽しいひとときです。今年の八月は、懐かしい旧職員夫婦も顔をみ出され、昔話に花が咲きました。初めての参加・久しぶりの参加も大歓迎です。出身者・旧職員の方々もどうぞおいで下さい。お待ちしております。

日時 盆 八月十四日 午後六時

正月 一月 一日 午後六時

場所 鳥取子ども学園地域交流ホーム

当学園事業へのご寄付 後援会へのご加入に 感謝申し上げます。

前回報告以降、現在まで、ご寄付いただいた方々、及び後援会に賛同（会費納入）していただいた方々は下記のとおりです。心より感謝し、ご報告申し上げます。

寄 付 者 (2004. 6. 1～11. 30)

(敬称略)

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
明 穂 政 裕	川 端 勇 次	田 中 則 義	林 義 雄
浅 井 慶 紀	菊 地 ト シ	田 中 宏 尚	日立金属株式会社鳥取工場
浅 井 富 美 子	岸 律 子	田 中 政 仁	平 木 孝 夫
穴 井 篤 子	木 村 秀	谷 □ 金 治	藤 井 喜 臣
雨 河 一 就	木 本 正	谷 □ 博 文	藤 野 興 一
池 内 泉 子	久 野 芳 治	タニグチ ヘアサロン	牧 田 文 子
池 田 晴 隆	小 谷 寿 子	田 畑 幸 子	巻 田 豊
石 河 ひ ろ み	榎 田 友 子	玉 木 敏 久	松 岡 京 子
石 田 文 三	齋 藤 皓 彦	束 原 克 美	松 谷 ポ ン プ (株)
石 戸 喜 正	齋 藤 和 實	土 江 浜 代	松 橋 秀 之
石 原 栄 子	道 祖 尾 博 子	鶴 見 厚 子	松 原 菜 津 子
伊 谷 伊 津 子	坂 井 芙 美 子	手 皮 小 四 郎	松 村 文 雄
伊 谷 周 一	澤 田 敬	天 徳 寺	松 本 勲
市 谷 経 哉 ・ 成 子	山 陰 酸 素 工 業 (株)	東伯地区更生保護女性会	マ ル カ ツ 食 品
(有)因幡安田ひまわり保険	(有)山陰予防医学研究所	東部地区民生児童委員協議会	三 木 康 二
井 上 康 夫	柴 田 妙	堂 山 道 生	道 盛 恭 次 郎
猪 □ 絹 代	柴 田 尚 美	戸 田 倫 弘	村 中 英 夫
入 江 一 枝	清 水 雅 彦	鳥取教会社会委員会	百 村 佐 智
(株)岩田兼商店	正 林 督 章	鳥取鶏卵販売株式会社	盛 田 和 子
岩 田 弘 美	白 井 道 子	鳥 取 市 仏 教 会	盛 田 啓 介
岩美地区更生保護女性会	(株)新日本海新聞社	鳥 取 白 バ ラ 乳 販 (株)	安 本 良 栄
上 野 拡	仁 保 統 博	戸 村 誠	山 内 省 二
大 井 工 務 店	杉 原 純 一	豊 福 孝 明	山 □ 登 貴 子
大 久 保 幸 子	杉 村 英 子	(株)中 井 修	山 田 金 庫 店
大阪水上隣保館	砂 □ 芳 政	(株)中尾税経総合事務所	山 根 浩 子
尾 崎 誠 太 郎	千 石 夏 知 子	中 尾 文 裕	山 本 和 子
尾 崎 三 智 子	綜合印刷出版株式会社	中 谷 志 津 枝	山 本 大 順
加 藤 禮 子	大雲院 地藏盆子供夜店	中 野 輝 美	湯 村 國 光
金 田 隆 臣	ダイゲン眼科医院	中 山 隆 義	湯 村 正 仁
金 田 吉 治 郎	竹 内 ひ と み	(株)ニ シ 才	横 山 滋
叶 原 土 筆	竹 本 薫 子	荻 原 医 院	若桜地区更生保護女性会
鎌 谷 清 子	竹 本 伸 子	端 戸 明 子	無 名 氏
(有)亀井堂	田 中 儀 衛	(有)花 の れ ん	
河 田 瑛 子	田 中 工 業 (株)	濱 本 慈 子	
川 中 法 律 事 務 所	田 中 耕 自	林 敬 二 郎	

以上152件、総額2,583,200円の後援会費・寄付金が寄せられました。心より感謝申し上げます。

物品寄付者 (2004. 6. 1～11. 30)

(敬称略)

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
相 澤 孝 子	光琳グループ 猪口吉野	鳥取城北高校 P T A	福 田 光 明
石 谷 一 宇	澤 田 辰 子	鳥取鮮魚仲買人組合	松 原 菜 津 子
い な ば 幼 稚 園	三 友 商 事	富 田 さ お り	松 山 は る 糸
入 江 克 枝	シ オ ン 会	豊 福 孝 明	丸 山 順 子
大 杉 陽 子	資生堂社会福祉事業団	(有) 長田茶店 鳥取店	森 川 め ぐ み
大 坪	下 石 洋 子	永 原 多 磨 恵	森 本 と し 子
懸樋 義樹 他一同	大 樹 寺	西 尾 素 行	山 崎 綾 子
北 村 あ ゆ み	田 賀 由 美 子	西 尾 瑠 璃 子	山 本 正 明
黒 川 和 子	鳥取家畜保健衛生所	野 口 め ぐ み	湯 谷 加 奈
小 泉 淳 子	鳥取更正保護女性会	フェニックス鳥取店	無 名 氏

「鳥取こども学園後援会」寄付金への感謝

鳥取こども学園の事業は、公的な制度と資金だけでは支えられません。皆様の後援会費、寄付金に頼るところも大きく、皆様の「愛の精神」によって支えられています。

今年は、台風23号で園の被害も大きく、本館横の“ヒマラヤスギ”の大木が根こそぎ倒れ、電線が落ち、24時間停電となりました。プレハブ小屋も半壊し、園舎の壁も落ちるとという被害にあいました。修理は250万円程度必要であり、まだ修理できてない部分もあります。

水道代2ヶ月100万円の請求に驚き、調べてもらったところ漏水が発覚。漏水箇所の発見、修理に50万円かかりました。相次ぐ災難に頭をかかえております。

今後とも、さらなるご支援よろしくお願い致します。



《「鳥取こども学園後援会」へご入会下さい。》

- ・地域、職域でできるだけ友人、知人への呼びかけをお願いします。
- ・個人でも団体でも、会社や法人でも加入できます。

・会員の種類（年会費）

- 個人 1口 3,000円
- 団体・法人 1口 10,000円
- * 1口以上何口でも結構です。

会費・寄付金は下記へ

鳥取こども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取こども学園内

☎ (0857) 22-4206・21-9551 FAX23-0242

振込み口座名義：社会福祉法人鳥取こども学園 理事長 尾崎淑子

振 込 口 座：郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3422812
鳥取銀行本店 普通 7645611

お 願 い

この「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設の様子やご寄付等の状況を報告する意味で発刊し、お送りしています。

同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆さまの便宜を考えてのことです。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。